

鳥労基発0904第1号
令和元年 9 月 4 日

関係事業者団体の代表者 殿

鳥取労働局労働基準部長

令和元年度『見える』安全活動コンクール」の募集等について

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、厚生労働省では労働災害防止に向けた事業場・企業の取り組み事例を募集・公開し、国民からの投票等により優良事例を選ぶ、令和元年度「『見える』安全活動コンクール」を、別添リーフレットのとおりに実施しています。

このコンクールは、安全活動に熱心に取り組んでいる事業場・企業が国民や取引先に注目される運動「あんぜんプロジェクト」の一環として平成23年度から実施しております。

応募期間は、8月1日から9月30日までで、応募事例は「あんぜんプロジェクト」のホームページに掲載されます。その後、令和元年11月1日から12月31日までを投票期間とし、来年2月下旬に優良事例が発表される予定です。

安全活動の「見える」化とは、職場に潜む視覚的に捉えられない危険などを可視化すること、また、それを活用することによる効果的な取り組みを言います。さらに、自社の安全活動を企業価値（安全ブランド）の向上に結びつけ、一層、機運を高めることも狙いとするものです。

つきましては、本コンクールの募集について、貴団体の傘下の事業場に周知いただきますとともに、応募の勧奨をお願いいたします。

併せて、「あんぜんプロジェクト」への参加も勧奨願います。

また、労働者の安全や健康を確保するための対策に積極的に取り組み、高い安全衛生水準を維持・改善している企業について、その企業名を公表する「安全衛生優良企業公表制度」も推進していますので、同様に周知いただきますよう、重ねてお願いいたします。

*「あんぜんプロジェクト」ホームページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

(参考)

『見える』安全活動コンクール」特設ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/oubo.html>

厚生労働省報道発表ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05778.html

リーフレット掲載ページ

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/leaflet_2019.pdf





あんぜん プロジェクト

あんぜんプロジェクトは
労働災害のない日本を目指して
働く方の安全に一生懸命に取り組み
「働く人」、「企業」、「家族」が
元気になる職場を創るプロジェクトです!



プロジェクトメンバー
(参加企業)を募集しています。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

サイトで募集中。メールで参加申請できます。



参加企業には、
あんぜんプロジェクトと
転倒災害プロジェクトとの
コラボステッカーを
プレゼント!

自社ホームページを開設していない場合でも
プロジェクト参加が可能です!

「あんぜんプロジェクト」
ホームページ上で
『「見える」安全活動コンクール』
を実施します。

募集期間

(P.3 参照)

令和元年 令和元年
8月1日～9月30日まで

優れた安全活動事例を募集しています。

安全は企業の礎です。

働く人の安全と健康を確保することは事業者の責務ですが、そのためには、企業とそこで働く
方々の創意と工夫による不断的な努力が不可欠です。また、安全への取組は、働く人の能力向上、
企業の生産性向上、ご家族の安心やワークライフバランスの実現にも良い影響を与えます。
さらには、消費者の皆様にも良質な製品やサービスを提供することにつながるものです。

あんぜんプロジェクトは、働く方の安全に一生懸命に
取り組んでいる企業を応援しています!

参加手続きについてのお問い合わせ

参加手続き申請窓口(富士通株式会社)

電話: 03-5962-3138

e-mail: contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com

あんぜんプロジェクトについてのお問い合わせ

あんぜんプロジェクト事務局

(厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課)

電話: 03-3595-3225

※あんぜんプロジェクトの参加手続きに係る事務は、「職場の安全衛生情報の周知・啓発事業」の委託契約を厚生労働省と締結した富士通株式会社が実施しています。

あんぜんプロジェクト FAQ

1 プロジェクトの趣旨について教えてください。

働く人の安全を確保することは事業者の責務であり、企業において最優先に取り組んでいただきたいことです。安全への取組を進めることは働く人の命や健康を守るだけでなく、生産性の向上が期待されるとともに、企業内の士気を高め、働く人同士の信頼感の向上につながることを期待されます。このような労働環境であれば、働く人は働きがいをもって業務をこなし、個々の能力を向上できます。また、ご家族も安心して働く人を会社に送り出せます。安全への取組は、いわば、企業の礎です。

このように、良い製品やサービスを消費者に提供することとそこで働く人の安全への取組は切り離せないものであり、消費者の皆様にとっても、両者はともに企業のマネジメントのレベルを示すものとして重要な指標であると考えています。

「あんぜんプロジェクト」に参加する企業（プロジェクトメンバー）は、このような理念のもと、労働災害のない日本を目指して、働く人の安全に一生懸命に取り組むものとし、また、プロジェクトメンバーの取組を広く国民の皆様を紹介することで、企業価値（安全ブランド）の向上に繋がることを期待するものです。

2 プロジェクトに参加するとどうなるのでしょうか？

①プロジェクトメンバーは、労働災害のない日本を目指して、働く人の安全に一生懸命に取り組むものとし、その安全活動の状況、労働災害の発生状況等をホームページで公開していただきます。

②「あんぜんプロジェクト」ホームページでは、プロジェクトメンバーの企業名等を公表し、該当ページにプロジェクトメンバーのホームページリンクを掲載いたします。

※ホームページのレイアウトは、事務局により、事前の通知なく改訂される場合がありますので、予めご承知ください。

3 プロジェクトに参加資格はあるのでしょうか？

以下の(1)～(3)が参加資格となります。

(1) 働く方の安全に一生懸命に取り組んでいる事業場・企業または企業グループであること。

(2) 事業場・企業または企業グループでの安全活動の状況、労働災害の発生状況等をホームページで公開していること（企業のCSR報告書の一部でもかまいません。）。

(3) 労働保険に加入していること。

4 申込みするための手続きを教えてください。

次のURL (<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/registration/index.html>) から申請書（エクセル）をダウンロードし、必要事項を記入の上、参加手続き申請窓口まで送付してください。

【e-mail : contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com】

申請書の内容を事務局で確認した後、掲載予定日をご連絡いたします。

※申請書の記載等から「あんぜんプロジェクト」の趣旨に反することが明らかであると認められる場合には、参加が承認されないこともあります。

5 プロジェクトに加入するとお金がかかるのでしょうか？

プロジェクト参加は無料です。その後の会費等も一切ご不要です。

6 プロジェクトに入るとどんなメリットがあるのでしょうか？

あんぜんプロジェクトにご参加いただくと…

①あんぜんプロジェクト公式ロゴマークをご使用いただけます。



②自社の安全対策に積極的に取り組んでいる企業であることを広く世の中にアピールできます。

7 自社ホームページを開設していなくともプロジェクト参加は可能でしょうか？

あんぜんプロジェクトでは、働く人の安全の確保に積極的に取り組んでいるものの、自社ホームページを開設していない企業が、プロジェクトメンバーの申請を行えるように、安全方針、安全活動の具体例、労働災害発生状況等を公開するための専用ページを立ち上げております。

※専用ページの使用を希望される場合は、「あんぜんプロジェクト参加申請書」とともに「専用ページ使用申請書」を事務局にご提出ください。

※以上の他、あんぜんプロジェクトの詳細については、以下のURLからホームページをご覧ください。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/registration/index.html>

令和元年度「見える」安全活動コンクール

労働災害防止のための 安全活動の創意工夫事例を 募集します。

募集期間：令和元年8月1日～令和元年9月30日

投票期間：令和元年11月1日～令和元年12月31日

結果発表：令和2年2月下旬

募集専用ページ：<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>

コンクールの趣旨・目的

厚生労働省は、企業・事業場における安全活動の活性化を図るため、「見える」安全活動コンクールを開催します。企業・事業場で実施されている労働災害防止のための「見える」安全活動の創意工夫事例を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

ご応募いただいた事例は、あんぜんプロジェクトホームページに掲載し、広く国民に紹介させていただきます。また、ホームページをご覧になった方からの投票、意見を募集し、後日、結果発表を行います。

安全活動の創意工夫事例とは

職場における危険性、有害性について、通常視覚的に捉えられないものがあります。それらを可視化（見える化）すること、また、それを活用することによる効果的な安全活動を「見える」安全活動といいます。

募集概要

令和元年度「見える」安全活動コンクールでは、第13次労働災害防止計画において、転倒災害・腰痛防止対策、高齢労働者や外国人労働者、非正規雇用労働者の労働災害防止対策、熱中症予防対策メンタルヘルス対策、化学物質対策、そして運動実践を通じた労働者の健康増進に重点的に取り組むこととされていることを踏まえ、以下の8つの「見える化」の類型別に募集を行います。

- I. 転倒災害及び腰痛を防ぐための「見える化」
- II. 高齢労働者の特性等に配慮した労働災害防止の「見える化」
- III. 外国人労働者、非正規雇用労働者の労働災害を防止するための「見える化」
- IV. 熱中症を予防するための「見える化」
- V. メンタルヘルス不調を予防するための「見える化」
- VI. 化学物質による危険有害性の「見える化」
- VII. 通勤、仕事での健康づくりや運動の「見える化」
- VIII. その他の危険有害性情報の「見える化」

詳細は下記URL

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html> を参照してください。

また、特に中小規模企業における安全活動を活性化することが重要であることから、これら中小規模の企業等における活動の積極的なご応募をお待ちしています。

「見える」安全活動の例

事例① 転倒災害を防止するための「見える化」



仮設事務所階段の転倒防止処置

仮設事務所の階段は滑りやすく踏み外しやすい。よって、滑り止めテープおよびトラテープを貼った。また、夜間の対策として人感センサーおよび反射・蓄光テープを貼り見える化を徹底。

企業名：東芝インフラシステムズ(株) 関西支社
業種：建設業

事例② 化学物質による危険の「見える化」



局所排気装置 運転の見える化

囲い式局所排気装置の運転状況の確認として、風量が適正な値となっているかを確認する必要がある。風量が良好か不足しているかが分かるようにリボンの角度で判定できるように表示した。

【PR内容】 囲い式局所排気装置の確認は、吹き流しのみで見ていたが、装置の状態が分かりにくいため、吹き流しの角度で装置の状態がわかったがポイント。

企業名：メタコート工業(株) 岡山工場
業種：製造業

事例③ その他の危険有害性情報の「見える化」

I. 従来+αの工夫による見える化

◇現場への know-why「なぜ、そうするのか？」の表示



注意点を現場に表示する際
合わせて「know-why」も表示。
注意の目的を明確にする狙い



『危険情報の見える化』by見える化委員会

当工場では、『見える化委員会』にて潜在危険源撲滅活動に取り組んでおり、現場へのknow-why表示やサーモテープ活用による見える化等、従来から一工夫した見える化を実施、また『見える化事例集』により優良事例の水平展開を図るなど、全員参加で活動を展開しています。

企業名：エア・ウォーター(株) ケミカル鹿島工場
業種：製造業

※その他の優良な活動事例につきましては、下記URLを参照してください。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/2018/result.html>